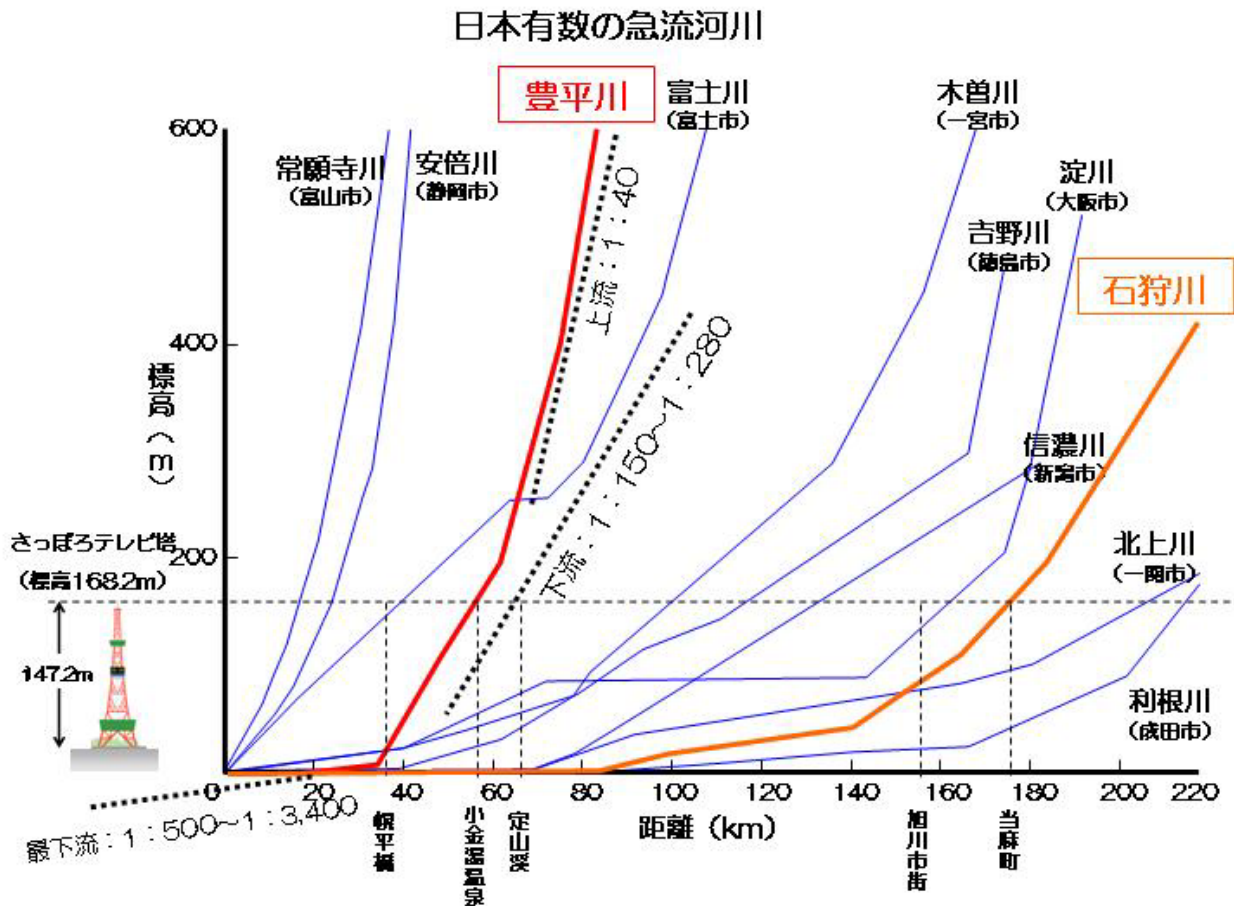


豊平川は日本有数の急流河川



豊平川は、186万人を擁する大都市を流れる河川としては他にあまり例のないほどの急流河川です。この図は日本の代表的な河川の河口からの距離を横軸、標高を縦軸に示したものであり、豊平川と石狩川は赤い線で、それ以外の河川は黒い線で示しています。

図の左下にさっぽろテレビ塔が描かれています。テレビ塔のてっぺんは標高168.2mであり、豊平川では小金湯温泉付近がこの高さとなります。また塔の立っている地面の標高は21mで、豊平川の幌平橋付近と同じ高さです。小金湯温泉から幌平橋までの豊平川の距離は約20kmであり、この距離で147mの落差を下ってくるということです。100m離れた2つの地点の川底の高さが1m違うとき、川の勾配を「1/100(100分の1)」と表現するので、豊平川のこの間の勾配は20km/147km 1/136になります。

この図でわかるように、豊平川の勾配は中心市街地を通る区間で1/150から1/280くらいですが、それより上流は1/40程度となっています。100分の1の川は急流河川に分類され、100分の1よりも急な川は溪流という呼び方がふさわしいような景色になります。

一方石狩川を見ると、テレビ塔のてっぺんと同じ高さとなるには旭川の市街を越え当麻町付近、170~180kmの距離があります。石狩川は1/1000よりも緩やかな勾配であることが分かります。